



お お せ ど つ う し ん  
**大世渡通信**

**第20号**  
**【2021年3月】**

〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6 Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006

■■この大世渡通信は私たちとご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一通信です■■

◆3年振りに現場に入りました！◆

こんにちは！中国地方の屋内外サインを自社一貫制作体制で承っております、広島市南区、株式会社日本彫刻工芸、代表取締役の大世渡（おおせど）英和です。大世渡通信第20号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、私たちの仕事は、1～3月が特に忙しく、この3カ月で年間の売上の3分の1を占めます。今年の1～3月も、コロナの状況がありながらも、大変有り難いことにたくさんのお仕事をいただき、その量が思っていた以上だったため、久しぶりに、私が現場に入ることになりました。

実は、ここ3年ほど、私はあえて現場に入らないようにしていました。私は、もともと工場や現場でやっていた人間で、手を動かして作ることがとても好きなのですが、スタッフの成長を促すために、あえて現場から離れていました。そして、この3年間は、経営者としての仕事、それから営業の仕事を積極的に行い、どちらかと言うと、体よりも頭を使う仕事にウエイトを置いていました。

ときどき、現場で自分がやりたくなくても、スタッフの成長のためと思い、我慢。そのおかげで、スタッフも順調に成長してくれているのですが、ただ、今年の繁忙期は、どうしても手が足りないということで、私が3年振りに現場に入ることになりました。

久しぶりの現場です。私は意気揚々としていたのですが、3年のブランクは思っていた以上に大きく、腕がさび付いていました。以前であれば、5～10分で簡単に終わったものが、15分も掛かるようになり、ショックでした。それでも体は覚えていて、また、毎日手を動かしているうちに感覚も戻りました。ただ、年齢的なものか、体力が落ちたのか、現場に出たあとは体が痛く、とても疲れます。それでも、もともと現場が好きな私は、毎日、充実感に満ち溢れています。



今後、繁忙期が過ぎても、現場にいたい気持ちがあるのですが、ただ、それではスタッフが育たないため、4月以降は再び、経営や営業にウエイト置き、またどうしても手が足りないというときに、現場に入ろうと思います。やっぱり、自分はもの作りが好きなんだなあと、改めて実感している今日この頃です。

◆編集後記◆

今回もまた、最後までお読みいただきどうもありがとうございます！さて、下のプロフィールにありますように、私の息子（小5）は誰に似たのか勉強ができます。先日、お風呂で「最近、勉強はどうや？」と聞くと、「算数がおもしろい。難しい問題がとくに楽しい」とのこと。勉強が苦手だった私には信じられないのですが、ただ、よくよく考えると、私も仕事で難しい形状の看板を作るときは特にわくわくします。分野は違えど、親子で似ているところがあるんだなあと、納得しました。

■大世渡通信はいらないよという方は、大変お手数ですが082-250-8883までご連絡いただければと思います■

【発行者プロフィール】

■名前:大世渡 英和(おおせど ひでかず) ■生年月日:1979年1月18日 ■血液型:O型

■出身地:広島県呉市 ■趣味:料理(食べ飲み歩きも好きです)、音楽(レコードを聴きます)、キャンプ、スノーボード ■家族構成:好奇心旺盛な私、高校時代から交際していた妻、誰に似たか秀才の息子(11歳)、天真爛漫な娘(8歳)

【発行元】株式会社日本彫刻工芸 本社工場 〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6

Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006 Email:h-ohsedo@niccho.main.jp

